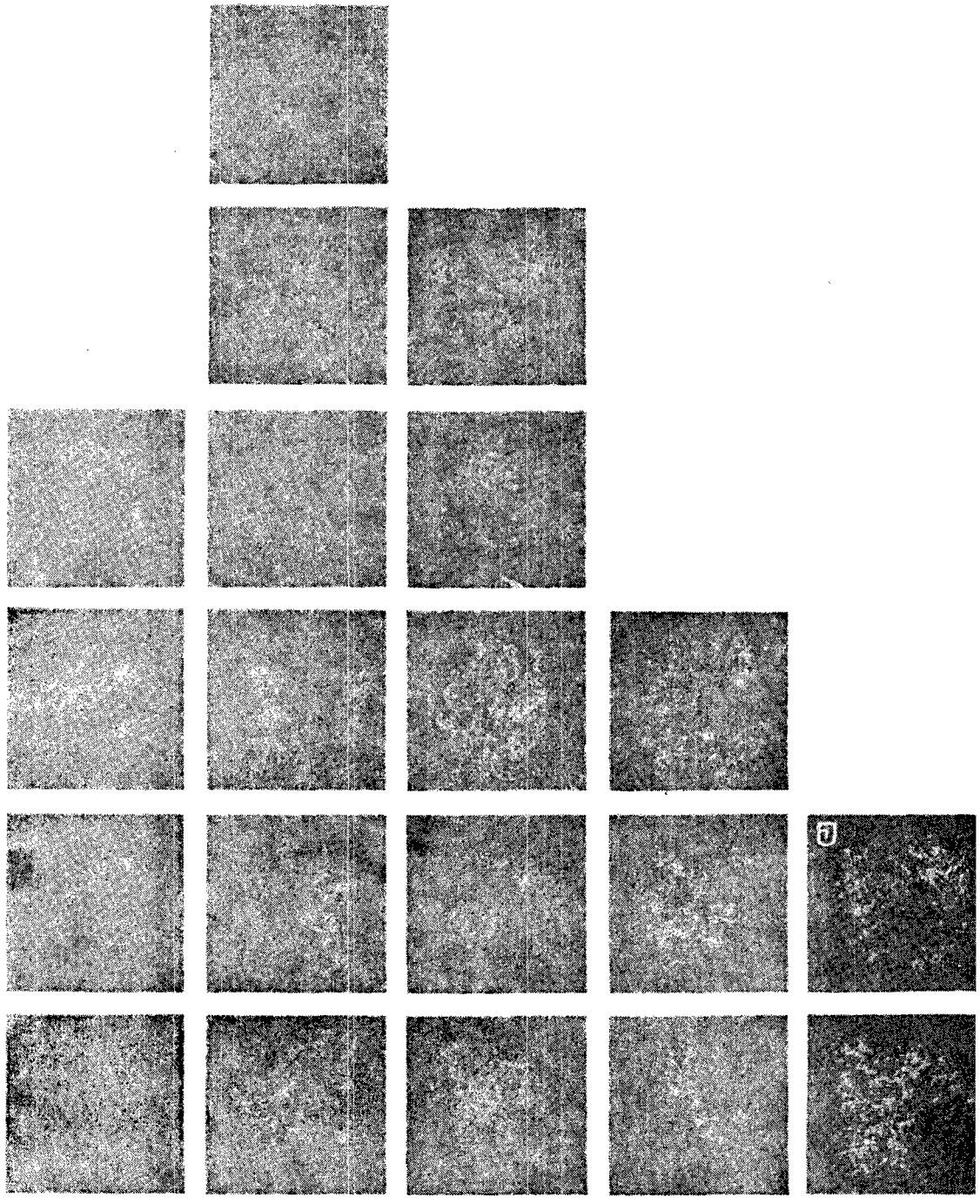
神経化学

VOL. 3 NO. 6 DECEMBER 1964



神 経 化 学 懇 話 会

第8回 神経化学懇話会 演題募集

第8神経化学懇話会は下記の要領で開催致すことになりましたので，御精読の上ふるってご応募戴きたいと存じます。

日　時　昭和40年9月16日（木）17日（金）18日（土）

会　場　全共連ビル（四階中会議室）東京都千代田区平河町2丁目7番地

§　**演題募集要領**

下記により第8回神経化学懇話会の演題募集をいたします。

昭和40年9月1日より9日迄国際生理学会が東京で開かれますが，そのために多数の欧米の学者の来日が予想されます。そこで今回は開催期日を早めて生理学会終了より1週間後の9月16日（木）に来日する外人学者のうち神経化学に密接な関連した研究をしている人々による **招待講演会** の開催を企画致しました。その人選に就いては昭和40年2月生理学会参加者の確定を待って行なわれる予定です。尚招待講演者は6名前後になるものと考えられます。今回はシンポジウムは行いませんので全部 **一般講演** とし9月17日（金）及び18日（土）の両日を神経化学懇話会の研究発表会と致します。尚今回は新しい試みとして現在進行中の研究（臨床的なものをも含む）の予報や新しい技術の紹介等をしていただくために **5分間講演** の演題をもうけ募集致します。

§　**応募要項**

演題，演者名，抄録を次の規定に従って **7月15日（木）** までに懇話会事務局に **必着** するようにご提出下さい。

(1)　演題申込者は懇話会々員でなければなりません。

(2)　応募を予定される方はなるべく早目に事務局に **原稿用紙** および **記載方法の解説** をご要求下さい。抄録集は写真印刷にしますので，必ず所定の原稿用紙に，所定の方法で書いて下さい。

(3)　抄録は予め講演内容を知らせ，討論が活発に行なわれるようにするため，更にスライドの使用をできるだけ少くするために，一般講演は上記所定の原稿用紙を用い約6,000字（図，表および文献を含む）ものをご提出下さい。印刷の都合上写真はご遠慮下さい。5分間講演の演題は約3,000字（図，表及び文献を含む）の実験成績をも含めた原稿を上記所定の様式に従って御提出下さい。

(4)　演題申込み多数の場合は，取捨選択は常任委員会にお任せ下さい。討論の資料として不適当なもの，抄録が不完全で内容の不明確のもの，および所定の方法に従わないものは，**ご遠慮願うことがあります。**

(5)　発表時間，順序については常任委員会にお任せ下さい。

7月下旬プログラムを編成し，直ちにご連絡します。尚，抄録集は機関誌〔神経化学〕の別冊号として発行し8月中旬にお届けします（実費を戴きます。）抄録集希望の向きは8月25日までにお申込み下さい。

連絡先：神経化学懇話会事務局
東京都大田区大森　東邦大学医学部第二生理学教室気付　TEL. 762—4151
振替：東京　23232

演題申込の方で会員でない方は，入会御申込をお願い致します。
（尚御送金には振替口座を御利用下さい。入会申込書は振替用紙裏面の通信欄に所定事項を御記入願えれば結構です。

第5回　常任委員会議事録

昭和39年8月10日（月）於東京（9：00～19：00）

出席者：塚　田　裕　三・佐　野　　勇・高　坂　睦　年・川　北　幸　男
黒　川　正　則・高　垣　玄吉郎・宇尾野　公　義・平　野　修　助
永　田　　豊（事務局）・中　　修　三会長は海外出張中のため欠席

1：第7回懇話会プログラム編成

会期（2日間）中に上記申込演題総数を消化することは技術的に不可能であるので，申込演題につき常任委員会に於て慎重審議の結果，今年度は26題を選択することに決定した。なお，この他，外人講演3篇があり，計29題につい口演願うことにした。また，昨年度は各題につき討論時間不足の感があったので，今年度は1題の口演15分，討論15分計30分とした。

すなわち

シンポジウム（脳の構成物質）		5篇
シンポジウム（神経系病態の生化学）		6篇
一般演題		15篇
外人講演	Dr. Knox, Dr. Clark および Dr. Plum	3篇
	合計	29篇
	不採用分	12篇

2：庶務会計報告

1）会計報告　a　昭和39年度予算案

収入		支出	
一般会費	400,000	人件費	150,000
賛助会費	1,350,000	会議費	100,000
抄録集収入	150,000	通信費	200,000
「神経研究の進歩」原稿料	50,000	会誌編集費及謝金	150,000
		学会抄録集出版費	200,000
	1,950,000	総会運営費（外人接待費を含む）	450,000
		交通連絡費	100,000
		備品費（リコピー）	100,000
		事務雑費	50,000
			1,500,000
		次期繰越金	450,000

b　昭和39年度前半期（39. 1. 1～39. 7. 31）の収支状況

収入		支出	
一般会費	132,500	人件費	84,000
賛助会費	800,000	会議費	30,000
雑収入	7,408	通信費	74,850
		会誌編集費及謝金	20,000
	939,908	準備費（第7回懇話会）	250,000
前年度繰越金	1,232,082	交通連絡費	19,985
		事務費	18,840
	2,171,990	雑費	71,438
差引残高	1,612,877		569,113
			（雑誌印刷費を含まず）

2）会員状況

a　会員数(39. 7 .31現在)

一般会員	436
賛助会員	16

b　39. 1 . 1 ～7 .31における会員の移動

	入会	退会及会費未納
一般会員	9	81
賛助会員	1	1

3）会誌発行状況

	発行部数	発行月日
Vol. 2 No.5	481	1月
Vol. 2 No.6	475	3月
Vol. 3 No.1	480	5月

3：会誌の件

現在会誌の印刷費は寄附によってまかなわれており，また，口演抄録は書き直して医学書院の「神経研究の進歩」の特集号として発行されているが，医学書院側の要望もあり，また，懇話会の特徴を発展させるためにも，年6回程度の会誌「神経化学」を正規の専門雑誌として発行することが望まれていた。しかしながら時期尚早という意見もあり将来の問題として，続いて審議することとし，今年度は従前通り「神経研究の進歩」の特集号として収録することと決定した。ただし，その際，各論文は図表を含めて400字詰原稿用紙25枚以内とし，原稿は一応書き直して昭和39年12月10日までに懇話会事務局まで送附することとなった。

4：外人招待講演について

今回の懇話会については，Dr. W. E. Knox(Cancer Research Institute, New England Deaconess Hospital and Haward Univ. Boston, Mass. U. S. A), Dr. W. G. Clark (Veterans Administration Hospital, Psychopharmacology Laboratory, Sepulveda, Calf. U. S. A) およびDr. C. M. Plum (Biochemistry Research Laboratry, Kolonien Filadelfia, Dianalund, Denmark) の3学者の来日を得て10月9日，10日両日にわたって講演が行われることに決定した。

5：来年開催地，会長

明年昭和40年9月1日より9日まで，国際生理学会が東京で開催され，多数の外人学者の来日が予想されるので，それらの内，神経化学関係の学者を混えて懇話会を考えてはとの意見があり，生理学会に関連の深い塚田氏に明年の会長を委嘱し，東京にて開催することとした。

6：委員，常任委員追加の件

会則によれば，今年度は委員の改選期に当るが，未だ学会設立後日が浅いので，従来の委員および常任委員は留任とし，さらに数名の新委員をお願いして会の発展を図ることとなった。第5回総会において委員，常任委員の承認を得るに当り基礎医学に重点をおき，次の方々を追加推薦することと決定した。

委員		常任委員	
阪大・高次研	清水信夫	東大・脳研	石川晋次
東大・伝研	山川民夫	群大・生化	林浩平
東大・脳研	石川晋次	千葉大・薬理	小林龍男
群大・生化	林浩平	東耗大・内	田崎義昭
東邦大・内	田崎義昭		
		神経化学懇話会事務局	塚田裕三

神経化学懇話会

会　　則

第1条　本会は神経化学懇話会(The Japanese Neurochemical Society) という．神経化学の発展を促し，会員相互の連絡，内外の関連機関との連絡を図ることを目的とする．

第2条　本会の会員は次のとおりとする．

1．正会員：本会の目的に賛同し，所定の会費を納める者．会費は当分の間,年額1,000円とする．

2．賛助会員：本会の事業を援助し，1口以上の賛助会員費を納める者または団体．1口は年額1万円とする．

第3条　会員は本会の行う事業に参加し，会誌および印刷物の配布をうける．

第4条　会員になろとする者は，会費を添えて，所定様式の入会申込書を事務局に提出する．退会しようとする者は，退会届を提出する．

第5条

1．本会には役員として，委員若干名をおく，委員は総会で選任する．委員の中から会長1名，常任委員若干名を定める．

2．会長は，毎年選出され，研究発表会および総会を主催する。

3．委員会は，必要に応じて会長が招集し，本会の運営につき必要な事項を審議する．

4．常任委員の中より常任委員長を選出する．

常任委員会は，必要に応じて常任委員長が招集し，研究発表会の開催，会誌の編集に関する事項，その他会の目的達成に必要な事項を処理する．

第6条　委員の任期は2年として，再任を防げない．

第7条　本会は1年1回全国的研究発表会を行い，その際総会を開く．

第8条　総会において，会計報告および常任委員会で必要と認めた事項について承認をうる．

第9条　総会は会員の10分の1以上，委員会は委員の4分の1以上，常任委員会は常任委員の2分の1以上の出席を必要とする。但し委任状をみとめる．

第10条　本会の会計は，常任委員会の議決を経て，常任委員長が管理する．

第11条　この会則は，委員会および総会において，3分の2以上の議決を経て変更することが出来る．

第12条　会則施行についての細則は，常任委員会の議決を経て別に定める。

付　則

1．本会の事務局は，当分の間，東邦大学医学部第2生理学教室（東京都大田区大森西5丁目21番）におく．

2．第1回総会以前の役員は，発起人会により選任される．

委　員(ＡＢＣ順・○印は常任委員)

相沢豊三　(慶大・内科)
秋元波留夫　(東大・神経科)
江上不二夫　(東大・理学部生化)
江副勉　(松沢病院)
早石修　(京大・生化学)
○鳩谷龍　(京大・神経科)
○林浩平　(群大・生化)
井上章　(京大・生理)
○石川晋次　(東大・脳研)
陣内伝之助　(阪大・外科)
勝木司馬之助　(九大・内科)
○川北幸男　(阪市大・神経科)
木村雄吉　(伝研・細胞化学)
○小林龍男　(千大・薬理)
○高坂睦年　(岡大・神経科)
慨谷洋　(東大・薬理)
○黒川正則　(東大・脳研生化)
三浦岱栄　(慶大・神経科)
村上仁　(京大・神経科)
中脩三　(阪大・神経科)
○成瀬浩　(東大・神経科)
冲中重雄　(虎ノ門病院)
奥村二吉　(岡大・神経科)
○佐野勇　(阪大・神経科)
佐藤倚男　(東医大・神経科)
柴田農武夫　(東医大・神経科)
須田正己　(阪大・蛋白研)
島薗順雄　(東大・生化学)
清水信夫　(阪大・高次研)
諏訪望　(北大・神経科)
田坂定孝　(国立ガンセンター)
○高垣玄吉郎　(慶大・生理)
○高橋良　(東医歯大・神経)
○高橋康夫　(新大・脳研)
○田崎義昭　(東邦大・内科)
鳥飼龍生　(東北大・生理)
○塚田裕三　(慶大・生理)
○宇尾野公義　(東大・内科)
台弘　群大・神経科)
山川民夫　(東大・伝研)
安田守雄　(北大・生化学)
吉川政己　(東大・老人)

会 員 名 簿

昭和39年度　12月31日現在

正　会　員

A

阿 部 幸 子　新潟大（医）脳研
Abe Sachiko
安 達 禎 男　慶大（医）医化学
Adachi Sadao
藍 原 由美子　慶大（医）内科
Aihara Yumiko
相 沢 宏 邦　東北大（医）精神科
Aizawa Hirokuni
相 沢 豊 三　慶大（医）内科
Aizawa Toyozo
会 津 雅 子　順天堂大薬理学
Aizu Masako
赤 松　亘　千葉大（医）神経科
Akamatsu Wataru
赤 坂　正　東北大（医）精神
Akasaka Tadashi
明 石 勝 禎　東邦大（医）第2外科
Akashi Katsuyoshi
秋 浜 雄 司　弘前大（医）神経精神
Akikama Yuji
秋 野　睦　弘前大（医）神経科
Akino Mutsumi
秋 山　実　慶大（医）相沢内科
Akiyama Minoru
尼 子 富士郎　社会福祉法人浴風会
Amako Fujiro
青 木 公 明　東北大（医）神経精神科
Aoki Komei
新 井 尚 賢　東邦大（医）神経科
Arai Naokate
荒 木 千 里　京大（医）外科
Araki Chisato
荒 谷 真 平　東医歯大歯学部
Araya Shinpei
有 岡　巌　阪大（医）神経科
Arioka Gen
有 滝 世界爺　東京医大小児科
Aritaki Sekaiya
有 留 輝 次　塩野義製薬
Aritome Teruji
麻 上 義 文　山口医大精神神経科
Aasagami Yoshifumi
朝 長 正 徳　東大（医）中尾内科
Asanaga Masanori
浅 尾 博 一　和歌山医大精神神経
Asao Hiroichi
粟 津 三 郎　東邦大（医）第2外科
Awazu Saburo
東　紀 男　千葉大（医）薬理学
Azuma Norio

B

板 東 丈 夫　順天堂大（医）薬理学
Bando Takeo

C

千 葉 祐 広　武田薬品K.K.
Chiba Sukehiro
千ヶ崎 裕 夫　東大（医）脳外科
Chigasaki Hiroo

D

伊 達 慶 宗　京大（医）第2生理
Date Yoshimune

E

荏 原 光 夫　東邦大（医）第2外科
Ebara Mitsuo
越 後　一　神戸医大神経科
Echigo Hajime
江 上 不二夫　東大（理）生物化学
Egami Fujio
江 副　勉　都立松沢病院
Ezoe Tsutomu

F

淵 本　悍　山口医大第2外科
Fuchimoto Takeshi
藤 原 恒 広　岡大（医）精神科
Fujihara Tsunehiro
藤 井 健次郎　東邦大（医）神経科
Fujii Kenjiro
藤 森 英 之　東京医歯大神経科
Fujimori Hideyuki
藤 本 和 子　千葉大（医）腐敗研
Fujimoto Kazuko
藤 本　覚　札幌医大
Fujimoto Satoru
藤 本 孝 知　大阪大（歯）口腔外科
Fujimoto Takatomo
藤 田 英 介　熊本大（医）精神神経
Fujita Eisuke
藤 田 一 清　札幌医大神経精神
Fujita Kazukiyo
藤 田 繁 雄　札幌医大神経精神
Fujita Shigeo
深 沢 慶 子　東京慈恵医大神経
Fukazawa Keiko
福 田　葵　大阪大（医）第3解剖
Fukuda Aoi
福 田 哲 雄　大阪医大神経科
Fukuda Tetsuo
福 間 誠 之　京都府立医大峰外科
Fukuma Seishi

福島幸雄　神戸医大神経科
Fukushima Yukio
福山幸雄　東京（医）小児科
Fukuyama Yukio
船渡川誠一郎　群大（医）精神神経
Funatogawa Seichiro
古郡恒宜　弘前大（医）精神科
Furukori Tunenobu
古沢清三郎
Furusawa Sheizaburo
古沢善文　新潟大（医）脳研
Furusawa Yoshibumi

G

後藤文男　慶大（医）相沢内科
Goto Fumio
後藤平　東大（医）上田内科
Goto Hitoshi

H

羽場令人　神経研究所
Haba Reijin
葉田裕　日本医大精神科
Hada Hiroshi
萩原武美雄　吉富製薬K.K.
Hagiwara Fumio
萩原弥四郎　千葉大（医）薬理学
Hagiwara Yashiro
浜口勝彦　慶大（医）内科
Hamaguchi Katuhiko
浜中昭彦　大阪市大（医）神経
Hamanaka Akihiko
原三郎　東京医大薬理学
Hara Saburo
原隆夫　新潟大（医）外科
Hara Takao
原俊雄　山口医大精神神経科
Hara Toshio
播口之朗　阪大（医）精神神経科
Hariguchi Shiro
長谷川紅子　順天堂大薬理学
Hasegawa Koko
橋本一成　阪大（医）第一解剖
Hashimoto Hitonari
橋本和夫　大阪府立公衆衛生研究所
Hashimoto Kazuo
畠中坦　東大（医）脳外科
Hatanaka Hiroshi
鳩谷龍　京大（医）精神科
Hatotani Noboru
服部俊亮　三重大（医）生理学
Hattori Toshiaki
早石修　京大（医）医化学
Hayaishi Osamu
林浩平　群馬大（医）生化学
Hayashi Kohei
林直行　国立武蔵療養所
Hayashi Naoyuki
林暁彰　都立松沢病院
Hayashi Susumu
狭間秀丈　九大（医）精神科
Hazama Hidefumi
日比野啓　武田薬品工業K.K.研究所
Hibino Hajime
東漸　医療法人公仁会東病院
Higashi Susumu
平野修助　東邦大（医）第2生理学
Hirano Shusuke
平田皓浩　東大（医）神経科
Hirata Ko
広岡哲夫　大日本製薬K.K.
Hirooka Tetsuo
広瀬正　京大（医）精神科
Hirose Masashi
久田四郎　名古屋市大薬理学
Hisada Shiro
人見正博　藤沢薬品大阪研究所
Hitomi Masahiro
本田修　札幌医大生理学
Honda Osamu
堀部真広　東京医大薬理学
Horibe Masahiro
堀内恵　信州大（医）精神神経科
Horiuchi Satoshi
細谷英吉　慶大（医）薬理学
Hosoya Eikichi

I

市川潤　弘前大（医）神経精神
Ichikawa Jun
一木子和　九大（医）精神科
Ichiki Shiwa
出田哲也　九大（医）精神科
Ideta Tetsuya
井形昭弘　東大（医）中尾内科
Igata Aakihiro
井川玄朗　大阪市大（医）精神科
Igawa Genro
飯田誠　国立精神衛生研究所
Iida Makoto
飯田慈子　金沢大（医）癌研究所
Iida Yoshiko
飯島浩一　東京医歯大解剖学
Iijima Koichi
飯島尚治　東北大（医）精神医学
Iijima Shoji
飯島泰彦　東邦大（医）神経科
Iijima Yasuhiko
池田周弘　東大（医）脳研
Ikeda Kanehiro
今泉正臣　京大（医）生理学
Imaizumi Masaomi
今泉礼治　阪大（医）薬理学
Imaizumi Reiji
井上章　京大（医）生理学
Inoue Akira

井上勝義　横浜市大（医）神経科
Inoue Katsuyoshi
井上　越　熊本大（医）神経精神
Inoue Ichi
乾　正　阪大（医）精神神経科
Inui Masashi
猪瀬　正　横浜市大（医）神経科
Inose Tadashi
諫山義正　神戸医大眼科
Isayama Yoshimasa
石橋治雄　横浜市大（医）解剖
Ishibashi Haruo
石井　厚　東北大（医）精神科
Ishii Atsushi
石井昌之　大阪赤十字脳神経外科
Ishii Masayuki
石川晋次　東大（医）生化学
Ishikawa Shinji
石川稔生　千葉医大薬理学
Ishikawa Toshio
石川幸重　東邦大（医）第1生理学
Ishikawa Yukishige
五十貝いち　群馬大（医）精神神経科
Isogai Ichi
板原克哉　東北大（医）鳥飼内科
Itabara Katsuya
伊藤　斉　慶大（医）神経科
Ito Hitoshi
伊藤　顕　神戸医大第一外科
Ito Ken
伊藤世彦　大阪市大神経精神
Ito Toshihiko
岩城利一郎　杏林化学研究所
Iwaki Riichiro
岩本多喜男　北大（医）薬学科
Iwamoto Takio
岩沢　克　吉富製薬K.K.
Iwazawa Katu

J

陣内伝之助　大阪大（医）外科
Jinnai Dennosuke

K

甲斐睦興　群馬大（医）生化学
Kai Mutsuoki
開沢茂雄　慶大（医）神経科
Kaizawa Shigeo
垣見亮次　慶大（医）相沢内科
Kakimi Ryoji
柿本泰男　阪大（医）神経科
Kakimoto Yasuo
角永武夫　阪大薬学研究科
Kakunaga Takeo
加倉井祥子　慶大（医）薬理学
Kakurai Yoshiko
亀山　勉　東北薬大薬品作用
Kameyama Tsutomu
神谷大雄　近畿大（薬）薬物学
Kamiya Hiroo
鴨下重彦　東大（医）小児科
Kamoshita Shigehiko
金松直也　信州大（医）精神神経
Kanematsu Naoya
金沢　彰　阪大（医）神経科
Kanazawa Akira
金子仁郎　阪大（医）神経科
Kaneko Ziro
金子玲子　大阪府立公衆衛生研究所
Kaneko Reiko
金戸　洋　阪大（医）薬理学
Kaneto Hiroshi
蟹池健一　奈良医大薬理学
Kaniike Kenichi
金田尚武　東北大（医）産婦人科
Kaneta Naotake
完倉孝子　放射線医学総合研究所
Kankura Takako
狩野忠雄　群大（医）生化学
Kano Tadao
仮屋哲彦　東医歯大神経科
Kariya Tetsuhiko
柏木　力　名大環境医学研究所
Kashiwagi Tsutomu
柏倉浩洋　東北大（医）精神医学
Kashiwagura Kosuke
片岡喜由　京大（医）生理学
Kataoka Kiyoshi
加藤順三　東大（医）産婦人科
Kato Junzo
加藤尚彦　東大（医）神経科
Kato Naohiko
加藤　誠　東大（医）神経科
Kato Makoto
加藤伸勝　都立松沢病院
Kato Nobukatsu
加藤喜彦　千葉大（医）神経科
Kato Yoshihiko
勝木司馬之助　九大（医）第2内科
Katsuki Shibanosuke
桂　忠保　東北大（医）神経精神科
Katsura Tadayasu
河井　清　岡山大（医）精神科
Kawai Kiyoshi
河北英詮　東京医大神経科
Kawakita Hidenori
川北幸男　大阪市大（医）神経科
Kawakita Yukio
川西正謹　阪大第2外科
Kawanishi
川島昭司　奈良医大第1生理学
Kawashima Shoji
川島　祐　日大（医）有賀内科
Kawashima Yu
木所正夫　三共製薬研究所
Kidokoro Masao

木川源則　東大（医）産婦人科
Kigawa Tomonori
木村英一　大阪市大（医）生理学
Kimura Eiichi
木村喜代史　日本新薬薬理
Kimura Kiyoshi
木村幸三郎　東京医大外科
Kimura Kosaburo
木村正康　富山大（薬）
Kimura Masayasu
木村雄吉　東大伝研
Kimura Yukichi
杵鞭宏育　東北薬大薬理作用
Kineuchi Hiroyasu
桐淵惟義　名大（医）眼科
Kiribuchi Koreyoshi
岸秀雄　金沢大（医）精神神経
Kishi Hideo
岸本鎌一　名市大（医）精神科
Kishimoto Kenichi
木住野幸二　慈雲堂病院
Kishino Koji
喜多富太郎　近畿大（薬）薬物学
Kita Tomitaro
北川晴雄　千葉大（薬）
Kitagawa Haruo
北島省吾　大阪日生病院
Kitajima Shogo
清田一民　熊本大（医）精神科
Kiyota Kazutami
黄仁硯　大阪市大病院神経科
Ko Zinseki
小林秀雄　横浜市大（医）神経科
Kobayashi Hideo
小林健一　東医歯大（医）神経科
Kobayashi Kenichi
小林晋　名大（医）精神科
Kobayashi Susumu
小林隆　東大（医）産婦人科
Kobayashi Takashi
小林竜男　千葉大（医）薬理学
Kobayashi Tatsuo
小林暉佳　東医歯大（医）神経科
Kobayashi Teruyoshi
小林司　神経研究所
Kobayashi Tsukasa
小林康弘　千葉大（医）薬理学
Kobayashi Yasuhiro
小林靖典　千葉大（医）神経科
Kobayashi Yasunori
小林義康　北大（医）精神神経科
Kobayashi Yoshiyasu
児玉貞介　和歌山医大小児科
Kodama
小井田雅夫　阪大（薬）薬理学
Koida Masao
小池通夫　阪大（医）小児科
Koike Michio
小池重夫　労働衛生研究所
Koike Shigeo
小池敏夫　信州大（医）神経科
Koike Toshio
小島勝弥　慶応（医）相沢内科
Kojima Katsuya
小島克　名大（医）眼科
Kojima Koku
小片富美子　信州大（医）神経科
Kokata Fumiko
駒井裕一　新潟大（医）脳神経外科
Komai Yuichi
小宮和彦　東大（医）小児科
Komiya Kazuhiko
近藤祐之　京大（医）外科第一講座
Kondo Hirouki
高坂睦年　岡大（医）精神科
Kosaka Mutsutoshi
小鳥居建　久留米大（医）精神神経科
Kotorii Ken
甲和良夫　田辺製薬大阪研究所
Kowa Yoshio
小沢俊次　京都府大（医）薬理学
Kozawa Shunji
工藤義雄　大阪警察病院
Kudo Yoshio
熊谷福夫　札幌医大神経科
Kumagaya Fukuo
熊谷洋　東大（医）薬理学
Kumagaya Hiroshi
熊本哲三　和歌山医大解剖
Kumamoto Tetsuzo
熊田重敦　藤沢薬品研究所
Kumata Shigenobu
久野滋　京大（医）医化学
Kuno Shigeru
栗原正　東大（理）生物
Kurihara Tadashi
黒田邦彦　岡山大（医）神経科
Kuroda Kunihiko
黒川正則　東大（医）脳研究所
Kurokawa Masanori
車勇　京大（薬）薬品作用
Kuruma Isami
草野亮　金沢大（医）医化学
Kusano Ryo
楠本一枝　大阪市大衛生研究所
Kusumoto Kazue

L

Lederberg J.　Genetics Stanford University U.S.A

M

馬淵秀夫　神戸医大医化学
Mabuchi Hideo
前田正典　京大（医）精神科
Maeba Masanori

馬島慶直　名大（医）眼科
Majima Yoshinao
槇　建　名古屋市立東市民病院
Maki Ken
牧野堅　慈恵医大医化学
Makino Katsushi
牧野惟義　東京医大外科
Makino Koreyoshi
牧田章　東北大（医）第2医化学
Makita Sho
丸野広　日本医大
Maruno Hiroshi
間瀬桂吉　新潟大（医）脳研究所
Mase Keikichi
桝村純正　京大（医）第2生理学
Masumura Sumio
松葉安郎　新潟大（医）脳研究所
Matsuba Yasuro
松田清　岡山大（医）神経科
Matsuda Kiyoshi
松井英男　東大（医）生化学
Matsui Hideo
松井森夫　名古屋市大（医）神経科
Matsui Morio
松井好夫　県立高崎精神病院
Matsui Yoshio
松川恵子　新潟大医脳研
Matsukawa Keiko
松本淳治　徳島大（医）第2生理学
Matsumoto Junji
松本啓　大阪市大（医）神経科
Matsumoto Kei
松本亮　静岡薬大生化学
Matsumoto Makoto
松岡正己　大阪大（医）薬理学
Matsuoka Masami
松谷天星丸　東邦大（医）第2生理学
Matsutani Tenhoshimaru
南沢茂樹　東京女子医大精神科
Minamizawa Shigeki
蓑田健二　科研化学K.K.研究室
Minoda Kenji
光枝惇三　三共K.K.製品計画部
Mitsueda
三塚浩三　東北大（医）神経精神科
Mitsuka Kozo
三浦貞則　慶大（医）神経科
Miura Sadanori
三浦岱栄炭　慶大（医）神経科
Miura Taiei
宮腰孝　東北大（医）神経精神科
Miyakoshi Takashi
宮本英七　大阪大（医）神経科
Miyamoto Eihichi
宮本侃治　東大（医）精神科
Miyamoto Kanji
宮田敬一　群大（医）精神神経科
Miyata Keiichi
三輪哲郎　東医大外科
Miwa Tetsuro
宮沢登　新潟大（医）脳神経外科
Miyazawa Noboru
三好功峰　京大（医）精神神経科
Miyoshi Koho
水口柳太郎　精神医学研究所
Mizuguchi Ryutaro
望月安雄　慶大（医）薬理学
Mochizuki Yasuo
最上平太郎　大阪大（医）第2外科
Mogami Heitaro
森昭胤　大阪大（医）陣内外科
Mori Akitane
森文彦　慶大（医）神経科
Mori Fumihiko
森浩一　大阪市大（医）神経精神科
Mori Koichi
森温理　東邦大（医）神経科
Mori Onri
盛林直彦　大阪大（医）薬理
Moribayashi Naohiko
守屋寛　東京理大（薬）生理化学
Moriya Kan
茂木晃　日本医大神経科
Motegi Akira
向井淋彰　国立肥前療養所
Mukai Akira
向山孝太郎　東邦大学病院
Mukoyama Kotaro
村上博　東大(医)化学
Murakami Hiroshi
村上誠　東大（農）農芸化学
Murakami Makoto
村上仁　京大（医）精神科
Murakami Masashi
村松文雄　慶大（医）相沢内科
Muramatsu Fumio
村本幸栄　弘前大（医）神経精神科
Muramoto Yukiei
村野匡　和歌山医大薬理学
Murano Tadashi
武藤朗　東北大（医）神経精神科
Muto Akira
武藤泰敏　東大（医）中尾内科
Muto Yasutoshi

N

永井和夫　大阪大（医）薬理
Nagai Kazuo
長尾佳子　東京医歯大神経精神科
Nagao Yoshiko
長森敬　久留米大（医）精神神経科
Nagamori Takashi
永田豊　東邦大（医）第2生理学
Nagata Yutaka
永津俊治　名古屋大（医）生化学
Nagatsu Toshiharu

永山素男　東大（医）神経科
Nagayama Motoo
中　修三　大阪市大（医）神経科
Naka Syuzo
中川秀三　大阪大（医）神経科
Nakagawa Hidezo
中島　久　大阪府立中宮病院
Nakajima Hisashi
中島照夫　大阪大（医）神経科
Nakajima Teruo
中間元隆　京都大（医）
Nakama Mototaka
中村　勇　群大（医）生化学
Nakamura Isamu
中村圭二　大日本製薬研究所
Nakamura Keiji
中村敬三　山口医大精神神経科
Nakamura Keizo
中村陸郎　東大（医）神経科
Nakamura Rikuro
中村正二郎　山口医大精神神経科
Nakamura Shojiro
中西俊雄　国立善通寺病院
Nakanishi Toshio
中島敏夫　名古屋市大（医）薬理学
Nakashima Toshio
中尾喜久　東大（医）内科
Nakao Kiku
中沢欽哉　京大（医）精神科
Nakazawa Kinya
中沢省三　新潟大（医）外科
Nakazawa Shozo
中沢恒幸　慶大（医）精神科
Nakazawa Tuneuki
難波益之　山口医大精神科
Nanba Masuyuki
奈良英功　東京医大外科
Nara Hidekatsu
奈良昌治　慶大（医）内科
Nara Shoji
楢林博太郎　順天堂大神経科
Narabayashi Hirotaro
成瀬　浩　東大（医）神経科
Naruse Hiroshi
二階堂　亨　都立松沢病院
Nikaido Toru
仁村忠雄　東邦大（医）精神科
Nimura Tadao
西村顕治　東大伝研
Nishimura Kenji
西村　真　東京医大
Nishimura Makoto
西村　健　大阪大（医）精神科
Nishimura Tsuyoshi
西沼啓次　大阪大（医）精神科
Nishimura Keiji
西住昌裕　九大（医）第2内科
Nishizumi Masahiro
野村純一　京大（医）精神科
Nomura Junichi
野口鉄也　東邦大（医）第2生理学
Noguchi Tetsuya
額田忠篤　大阪大（医）薬理学
Nukata Tadaatsu
沼　正作　京大（医）医化学
Numa Shosaku

O

小田琢三　岡山大（医）癌源研究施設
Oda Takuzo
緒方規矩雄　新潟大（医）生化学
Ogata Kichio
小川保直　塩野義製薬研究所
Ogawa Yasunao
大原和雄　金岡中央病院
Ohara Kazuo
大橋健男　大阪市大（医）神経科
Ohashi Nobuo
大森文太郎　岡山大（医）精神神経科
Omori Buntaro
大西　勁　名古屋大（理）物理学
Onishi Tsuyoshi
大井善郎　大阪大（医）薬理学
Oi Yoshiro
大阪医科大図書館

織壁永次　東大（医）神経科
Orikabe Eiji
長内善文　新田目病院上荒川分院
Osanai Yoshibumi
大須賀恒夫　群大（医）精神神経科
Osuga Takeo
大月三郎　岡山大（医）精神神経科
Otsuki Saburo
大内　武　大阪大（医）薬理学
Ouchi Takeshi
尾崎正若　名古屋市大（医）薬理学
Ozaki Masayori
小沢和恵　京大（医）医化学
Ozawa Kazue

S

斉藤章二　慶大（医）薬理
Saito Shoji
斉藤　洋　東大（薬）薬品作用
Saito Yo
坂口　孝　大日本製薬中央研究所
Sakaguchi Takashi
酒井正雄　横浜市大（医）神経科
Sakai Masao
坂本哲彦　東大（医）神経科
Sakamoto Tetsuhiko
坂本良男　大阪市立大（医）神経科
Sakamoto Yoshio
桜田　敞　弘前大（医）神経科
Sakurada Sho

桜田　高　弘前てんかん研究所
Sakurada Takashi
三共株式会社研究所

佐野　勇　阪大（医）精神科
Sano Isamu
佐野　馨　阪大（医）第2内科
Sano Kaoru
佐野圭司　東大（医）脳外科
Sano Keizi
更井啓介　鳥取大（医）神経科
Sarai Keisuke
佐々木日出男　群大（医）精神科
Sasaki Hideo
佐々木　仁　弘前大（医）精神神経
Sasaki Hitoshi
佐々木健一　東北薬大薬品作用
Sasaki Kenichi
佐々木高光　市立札幌病院
Sasaki Takateru
佐武　明　新潟大（医）脳研
Satake Akira
佐藤　明　弘前大（医）精神神経
Sato Akira
佐藤壱三　銚子市立病院精神科
Sato Ichizo
佐藤哲男　北大（医）薬学科
Sato Tetsuo
佐藤陽一郎　慈恵大古閑内科
Sato Yoichiro
佐藤倚男　東京医大神経科
Sato Yorio
仙波恒雄　千葉大（医）神経科
Senba Tsuneo
柴田邦治　近畿大（薬）薬物学
Shibata Kuniharu
柴田農武夫　東京医大神経科
Shibata Nobuo
渋木玖次　弘前大（医）神経精神
Shibuki Kyuji
渋谷　健　東京医大薬理学
Shibuya Takeshi
七楽　醇　国立小倉病院
Shichiraku Atsushi
島薗順雄　東大（医）生化学
Shimazono Norio
鶴津　孝崎　阪大（医）第3解剖
Shimazu Takashi
志水　彰　阪大（医）神経科
Shimizu Akira
清水順三郎　千葉大（医）神経科
Shimizu Junzaburo
清水宗夫　東京医大神経科
Shimizu Muneo
清水茂松　東京医科大小児科
Shimizu Shigematsu
清水俊郎　群大（医）精神神経科
Shimizu Toshiro

品川純子　京大（医）生理学
Shinagawa Junko
品川嘉也　京大（医）生理学
Shinagawa Yoshiya
篠原　猛　北大脳神経外科
Shinohara Takeshi
塩　栄夫　京大（医）生理
Shio Hideo
十河孝博　東京医歯大神経科
Sogo Takahiro
須田正己　阪大蛋白研究所
Suda Masami
住田豊治　九大精神科
Sumida Toyoharu
末岡　修　京大（医）解剖学
Sueoka Osamu
鈴木有朋　神戸医大薬理
Suzuki Aritomo
鈴木喜八郎　弘前大（医）神経精神
Suzuki Kihachiro
鈴木昌樹　東大（医）小児科
Suzuki Masaki
鈴木　隆　北大（医）精神神経
Suzuki Takashi
鈴木義之　東大（医）小児科
Suzuki Yoshiyuki
鈴木　胖　東京医大神経科
Suzuki Yutaka
諏訪　望　北大（医）精神科
Suwa Nozomi
執行経世　阪大（医）神経科
Syugyo Tsuneyo

T

田縁修治　東大（医）神経科
Taen Shuji
高垣玄吉郎　慶大（医）生理学
Takagaki Genkichiro
高木博司　京大（薬）薬品作用
Takagi Hiroshi
高橋　良　東医歯大（医）神経科
Takahashi Ryo
高橋幸彦　阪大（医）神経科
Takahashi Yukihiko
高橋康夫　新潟大（医）脳研究所
Takahashi Yasuo
高倉公朋　東大（医）清水外科
Takakura Kimitomo
高野介佐　群大・精神
Takano Kaisuke
高野玲子　群大精神科
Takano Reiko
高見沢ミサ　東京医歯大神経科
Takamizawa Misa
高野清一　群大（医）神経科
Takano Seiichi
高世光弘　弘前大（医）神経科
Takase Mitsuhiro

高下弘夫　日大（歯）生理学
Takashita Hiroo
高柳嘉弘　岩手県立南光病院
Takayanagi Takahiro
竹原一雄　名大環境医学研究所
Takehara Kazuo
武貞昌志　阪大（医）精神科
Takesada Masashi
竹下司恭　九大（医）第2内科
Takeshita
竹内直司　阪大陣内外科神経化学
Takeuchi Naoji
田村岳夫　茨城県立友部病院
Tamura Takeo
丹道男　札幌（医）神経精神
Tan Michio
田辺等　東大（医）中尾内科
Tanabe Hitoshi
田中育郎　熊本大（医）第1生理学
Tanaka Ikuro
田中善立　秋田県立中央病院神経精神科
Tanaka Zenryu
谷向弘　阪大（医）神経科
Tanimukai Hiroshi
谷村憲一　新潟大脳神経外科
Tanimura Kenichi
田野稔郎　横浜市大病院神経科
Tano Toshio
田坂元祐　吉富製薬（株）
Tasaka Motosuke
田坂定孝　国立ガンセンター
Tasaka Sadataka
立沢寧　慶応大相沢内科
Tatsuzawa Yasushi
田崎義明　東邦大（医）阿部内科
Tazaki Yoshiaki
寺尾章　岡山大（医）精神神経
Terao Akira
寺尾寿夫　東大（医）中尾内科
Terao Toshio
寺岡葵　熊本大（医）神経精神
Teraoka Aoi
富田稔　慶大（医）相沢内科
Tomita Minoru
鳥飼竜生　東北大（医）鳥飼内科
Torikai Ryusei
融道男　東医歯大（医）神経科
Toru Michio
遠坂治夫　三重県立大学付属塩浜病院精神
Tosaka Haruo
土本広一　札幌（医）神経精神医学
Tsuchimoto Kooichi
辻尾武彦　大阪大学（医）神経科
Tsujio Takehiko
塚田裕三　慶大（医）生理学
Tsukada Yasuzo
辻治憲　岡大（医）神経精神科
Thuji Harunori
辻宏　京大（医）医化学
Tsuji Hiroshi
鶴岡孝人　日大（医）神経科
Tsuruoka Takato
露崎輝夫　千大（医）薬理学
Tsuyusaki Teruo

U

内田正名　東北大（医）神経精神
Uchida Masana
内田正男　熊本医科大
Uchida Masao
植松宗悟　日大（医）神経科
Uematsu Sogo
梅沢修　興和株式会社
Umezawa Osamu
梅末正男　九大（医）精神科
Umesue Masao
上野陽三　日大（医）神経科
Ueno Yozo
宇尾野公義　東大（医）中尾内科
Uono Masanori
薄井省吾　岡山大（医）神経科
Usui Seigo
台弘　群馬大（医）精神科
Utena Hiroshi
植村慶一　慶大（医）生理
Uyemura Keiiehi

W

和田攻　東大（医）中尾内科
Wada Osamu
和田忠男　三共高峰研究所
Wada Tadao
和田豊治　弘前大（医）精神科
Wada Toyoji
渡辺昌祐　岡山大（医）神経科
Watanabe Syosuke

Y

矢部徹　神経研究所
Yabe Toru
八木原嘉幸　群大（医）生化学
Yagihara Yoshiyuki
山田章之　東大（医）土田内科
Yamada Akiyuki
山川民夫　伝研化学部
Yamakawa Tamio
山上栄　大阪市立大（医）精神科
Yamagami Sakae
山本卓二　慈恵医大精神神経
Yamamoto Takuji
山中昭夫　神戸（医）眼科
Yamanaka Akio
山崎英雄　千葉大（医）神経科
Yamazaki Hideo
山崎光郎　三共株式会社
Yamazaki Mitsuo

山崎晴一郎　九大（医）第2内科
Yamasaki Seiichiro
山添三郎　群馬大（医）生化学
Yamazoe Saburo
柳田昭二　千葉大（医）神経科
Yanagida Syoji
矢内純吉　阪大神経科
Yanai Junkichi
柳谷岩雄　大阪府立大農
Yanagiya Iwao
安村明　三共研究所
Yasumura Akira
横井晋　横浜市大（医）
Yokoi Susumu
横井幸雄　東邦大（医）第2生理
Yokoi Yukio
横田博司　九大精神
Yokota Hiroshi
頼尊豊治　長崎大（医）生化学
Yoritaka Toyoji
吉田博　阪大（医）薬理学
Yoshida Hiroshi
吉田則博　名大（医）眼科
Yoshida Noriaki
吉川博明　静岡県立病院養心荘
Yoshikawa Hiroaki
吉川政巳　東大（医）老人科
Yoshikawa Masaki
湯原昭　国立精神衛生研究所
Yuhara Akira
油井享　武田薬品工業（株）研究所
Yui Toru
由良了三　京大（医）精神科
Yura Ryozo

賛助会員

第一製薬株式会社	台糖ファイザー株式会社
エーザイ株式会社	武田薬品工業株式会社
藤沢薬品工業株式会社	吉富製薬株式会社
科研化学株式会社	中外製薬株式会社
サンド薬品株式会社	大日本製薬株式会社
三共株式会社	田辺製薬株式会社
塩野義製薬株式会社	山之内製薬株式会社

〔注〕

此の名簿は、一応昭和39年12月31日迄に会員として登録されている方々のみを収録致しましたが、一部所属変更の届出のあった方は昭和40年4月1日現在で訂正致しました。
昭和40年1月1日以降の新入会員及び4月1日以降所属変更のあった方は次の機会に掲載致しますので、御了承下さい。
尚所属変更をなさった方や、名前の読み方の違っている方は、事務局迄お届け下さいます様お願いします。

昭和40年4月1日

神経化学懇話会事務局

第7回　神経化学懇話会

プ ロ グ ラ ム

会長　中　修三

日時　昭和39年10月9日（金）・10日（土）午前9時より
会場　朝日生命ホール
大阪市東区高麗橋筋5－50　朝日生命館内
電話　大阪(202) 1371（代表）

第1日　――10月9日(金)――

9：00 a. m. ～12：00 a. m.
一般演題

1．神経疾患に関する免疫化学的研究……有岡　巖・矢内純吉・辻尾武彦(阪大・医・神経)
荻田善一(阪大・医・遺伝)

2．Near-freezing methodによる脳部位別アセチルコリン定量法
……高橋　良(インディアナ大・精神，東京医歯大・精神)

3．神経終末の新分離法……黒川正則(東大・医・脳研)坂本哲彦・加藤　誠・秋元波留夫(東大・医・神経)

4．脳白質の研究――細胞分画における知見――……加藤尚彦・平山　皓・秋元波留夫(東大・医・精神)
黒川正則(東大・医・脳研)

5．脳ATP-aseに対するメトアンフェタミンの影響…加藤伸勝・二階堂亨・江副　勉(東京都立松沢病院)

6．脳のイノシタイドとそれへの^{32}P組入れについて……林　浩平・八木原嘉幸・中村　勇
山添三郎(群大・医・生化)

12：00 a. m. ～1：00 p. m.
昼　食（委員会）
1：00 p. m. ～2：30 p. m.
一般演題

7．脳切片に於けるアミノ酸の能動輸送――特にGABA取り込みの局所的特徴について――
……中村陸郎・永山素男・秋元波留夫(東大・医・精神)

8．白鼠剔出頸部交感神経節のアミノ酸代謝の研究…永田　豊・横井幸雄・塚田裕三(東邦大・医・？生理)

9．C^{14}-グルコースを用いたネコ脳のアミノ酸タンパク代謝の研究
……大森文太郎・大月三郎(岡山大・医・神経)

――休　　憩――(10分)

2：40 p. m. ～5：00 p. m.
シンポジウム　脳の構成物質……**(司会　佐野　勇)**

S1．脳組織における Ribonuclease Inhiditor の存在とその精製の試み
……間瀬桂吉・阿部幸子(新潟大・医・脳研)

S2．神経系に存在する生物学的活性ポリペプチッド……井上　章・片岡喜由・桝村純生・堀　清記
塩　栄夫(京大・医・2生理)

S3．牛脳中の酸性ペプチド（Ⅰ）……柿本泰男・中島照夫・金沢　彰・武貞昌志・清水宏俊
宮本英七・佐野　勇(阪大・医・精神)

S4．牛脳中の酸性ペプチド（Ⅱ）……金沢　彰・柿本泰男・中島照夫・武貞昌志・清水宏俊
宮本英七・佐野　勇(阪大・医・精神)

S5．L－チロシン水酸化酵素――脳および交感神経分布臓器に特異なカテコールアミン生合成酵素――
……永津俊治(NIH，名大・医・生化)

5：00 p.m.

特 別 講 演 (30分)

Histamine and the nervous system, including original studies on histamine formation and its inhibition.……(**司会　塚 田 裕 三**)

W. G. Clark (Veterans Administration Hospital, Psychopharmacology Lab. Sepulveda Calif, U. S. A.)

6：00 p. m. ～

懇　親　会

第2日 ——10月10日 (土)——

9：00 a. m. ～12：00 a. m.

一 般 演 題

10. 肝臓酵素の活性調節と視床下部 (Ⅱ) ——特にその神経性機構の解析について——
……島津　孝・藤本孝知・福田　葵 (阪大・医・3 解剖)

11. マウスの部分脳におけるＮＡＤの確認とHydrazine 2 HClの影響
……斎藤章二・望月安雄・徳永友喜子・加倉井祥子・小島勝弥 (慶大・医・薬理)

12. 脳腫瘍の診断における乳酸脱水素酵素 Iozyme の応用……千ヶ崎裕夫・高倉公明・佐野圭司 (東大・医・脳外科) 島薗順雄 (東大・医・生化)

13. Ｘ線照射の脳蛋白質代謝並びに脳組織呼吸に及ぼす影響について
……原　隆夫・中沢省三・古沢善文・宮沢　登 (新大・医・脳外科)

14. 脳の核酸に及ぼす Tricyano-amino-propene の影響について
……中　修三・大橋健男・山上　栄・川北幸男 (阪~~市大・医~~・神経)

15. 慢性覚せい剤中毒マウスの脳クレアチン燐酸，アデニンヌクレオチドの変動——行動異常の神経化学的研究——……大須賀恒夫・清水俊郎・台　弘 (群大・医・精神)

12：00 a. m. ～1：00 p. m.

昼　　食

1：00 p. m. ～1：15 p. m.

総　　会

1：15 p. m.

特 別 講 演 (40分)

Biochemical aspects of phenylketonuria.……(**司会　中　　修　三**)

W. E. Knox (Cancer Research Inst., New England Deaconess Hosp. and Harvard Univ., Boston, Mass., U. S. A.)

2：00 p. m. ～5：30 p. m.

シンポジウム　神経系病態の生化学 ……(**司会**　宇尾野公義・高坂睦年)

S 6. 白鼠及び猿に依る実験的フェニールケトン尿症の研究……平野修助・野口鉄也・塚田裕三 (東邦大・医・2 生理)

S 7. 実験的Porphyrin症の神経化学的研究
……中尾喜久・宇尾野公義・井形昭弘・田辺　等・朝長正徳・和田　攻 (東大・医・中尾内科)

S 8. マウス脳室内注入法より見た痙攣誘発とイオン特にCa イオンとの関係
……喜多富太郎・神谷大雄・柴田邦治 (近畿大・薬理)

S 9. 各種痙攣パタンの局所神経化学的研究……融　道男・高見沢ミサ・仮屋哲彦・小林暉佳 小林健一・高橋　良 (東京医歯大・神経)

—— 休　　憩 —— (5分)

S10. ミオクロヌスてんかんに関する生化学的ならびに組織化学的研究……難波益之 (山口医大・精神)

S11. 黒内障性白痴脳の脂質の分析と組織化学 猪瀬正・酒井正雄・井上勝義・田野稔郎 (横浜市大・医・神経)

S12. Biochemistry of multiple sclerosis (30分) ……C. M. Plum (Biochem. Res. Lab. Kolonien Philadelfia, Dianalund, Denmark)

第6回　常任委員会議事録

昭和39年12月5日（土）於東京(14：00～18：30)

出席者：塚田裕三・小林龍男・川北幸男・黒川正則
高坂睦年・佐野勇・高橋康夫・林浩平
高垣玄吉郎・石川晋次・田崎義昭・宇尾野公義
永田豊（事務局）
欠席者：高橋良・鳩谷龍・成瀬浩

議　　事

1）第7回神経化学懇話会（昭和39年10月9日，10日，大阪朝日生命ホール）収支決算報告は下表の如く，承認された。

第7回　神経化学懇話会収支決算

〔支　出〕		〔収　入〕	
会場関係	92,780	抄録集売上代	109,200
記念品及謝礼	89,413	懇親会会費	36,400
クラーク謝金	30,000	入場費	4,000
プラム〃	20,000		
ノックス〃	20,000		149,600
記念品	19,413		
懇親会	111,800		
委員会昼食費(不足分)	11,760		
抄録集印刷代	160,000		
荷物送料	1,185		
電報代(プラム)	3,168		
アルバイト代	37,500		
事務局旅費	7,440		
事務局出張手当	10,000	事務局負担分	375,446
	525,046		525,046

2）会誌について

今年度神経化学懇話会の講演抄録は例年通り書き直して，医学書院発行の「神経研究の進歩」の特集号として発行することになっている。懇話会の正規専門誌を発行することが望まれているが，現在の段階では時期尚早のという意見もあり，従来通り医学書院に依頼するという方針で進めることとした。又，文献の Circular は今后とも充実して続ける必要があり，誰か図書館事務の専門家に依頼して定期的に刊行出来る様努力することとした。

3）第8回（昭和40年度）神経化学懇話会総会について

昭和40年9月1日より9日迄国際生理学会が東京で開催され，多数の外人学者の来日が予想されるので，それらの内神経化学関係の学者を混えて懇話会を開くべく考慮がなされ次の如く決定した。

会期：昭和40年9月16日（木），17日（金），18日（土）

その内16日（木）は5～6名の外人学者の招待講演にあて，17日（金），18日（土）の外人招待講演に来日するとみられる次の7名に対して神経化学懇話会より一応招待講演依頼状を送った。

Dr. Carlsson (Sweden), Dr. Cerletti (Switzerland),
Dr. Hyden (Sweden), Dr. De Robertis (Argentina),
Dr. Pletscher (Switzerland), Dr. Schade (The Netherland),
Dr. Skou (Denmark)
場所：全共連ビル四階　中会議室（東京都港区赤坂平河町）
会長：塚田裕三教授

会員懇親会は16日（木）夜外人学者を混じえて行う。（場所未定，中華料理）

今回はシンポジウムの主題を持たず，一般演題のみとし，その他に新しい試みとして，5分間講演演題を募集することとした。これは現在進行中の仕事（臨床的研究を含む）の予報や新しい技術や方法を紹介して討論を活発にするためのもので，具体的なデーターをのせる必要があり，一般演題の約半分程度の長さの抄録を提出するものである。

抄録集原稿の締切は7月15日（木）を厳守することとした。

4）神経化学，神経薬理合同の Closed Symposium について

国際生理学会に来日する学者と神経化学・神経薬理の研究者たちの間でその交流を深めるために20人程度の Closed Symposium をしてはどうかとの意見があったが，此の件は一応神経化学懇話会とはきりはなして，その Organization は小林龍男常任委員に一応一任することとした。

5）次回常任委員会について

昭和40年7月24日（土）にプログラム編成会議を行う。尚次回から事務局に集った論文を各々2部コピーして一題を二人の委員に一週間前に送付して24日には充分慎重に審議出来る様はからうことと決定した。

編集委員（ＡＢＣ順）

鳩谷　龍	川北　幸男	高坂　睦年	黒川　正則
成瀬　浩	佐野　勇	佐藤　倚男	高垣玄吉郎
高橋　良	高橋　康夫	塚田　裕三	宇尾野公義

昭和40年5月28日 印刷
昭和40年5月31日 発行

神経化学　第3巻　第6号

編集者		（代表）塚田　裕三
編集所	東京都大田区大森西5丁目21番地 東邦大学医学部第二生理学教室内	神経化学懇話会
表紙印刷	東京都北区西ヶ原3丁目46番地	杏林舎
印刷及製本	東京都文京区後楽1丁目5番地	(株)中央商会
発行者		緒方秀雄
発行所	東京都文京区曙町11番地	緒方書店

本会員以外の方で本誌の希望者は，実費でお頒けしますから，上記の編集所宛にお申出下さい．

神経化学 VOL. 3 NO. 6

目 次

第5回常任委員会議事錄…… 93

〔神経化学懇話会会則〕…… 95

〔委員名簿〕…… 95

〔会員名簿〕…… 96～104

〔第7回神経化学懇話会プログラム〕

…… 105

第6回常任委員会議事録…… 107

緒方書店刊